

## ＜ 家 庭 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	ファッション 造形基礎	学年・コース	2年生スポーツ &カルチャー	単位数	2単位	教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)	
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の構成、被服材料の種類や特徴、製作などを体型的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。</li> <li>・衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</li> </ul>						
評価の 観 点	A 知識・技術		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度			
評 価 の 内 容	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体型的・系統的に理解し、被服製作に関する基礎的な技術を身に付けている。		被服製作やデザインに関する課題を発見し、被服のデザインや材料の選択に関して個人の創意・工夫を表現することができる。		被服の構成・材料・製作について関心を持ち、衣生活の充実・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動における発言内容</li> <li>・実習における技術や態度</li> <li>・ノート、プリント類</li> <li>・定期考査</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動における発言内容や態度</li> <li>・ノート、プリント類</li> <li>・定期考査</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度</li> <li>・ノート、プリント類</li> </ul>			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点		
			A	B	C			
1 学 期	4	1章 衣服の構成 1 人体と衣服	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着心地のよい衣服を作るためには人体の構造や機能、動作時の変化に対応したゆるみ、性格や年齢による体型の変化などを考慮しなければならないことを理解する。</li> <li>・衣服の構成には立体構成と平面構成の二つがあることを理解する。</li> <li>・立体構成の代表としての洋服、平面構成の代表としての和服の構成の特徴を学び、二つの類似点と差異について理解する。</li> <li>・下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。</li> <li>・甚平下衣の製作</li> <li>・洋服の着想について、快適に過ごすための工夫やTPOへの配慮など様々な観点から考える。</li> </ul>			○	○	
	5	2 立体構成衣服と平面 構成衣服				○	○	
	6	3章 洋服の製作 1 製作の基礎 2 製作例				○	○	○
	7	3 着装				○	○	○
2 学 期	8 ・ 9	4章 和服の製作 1 製作の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な和服の意義について理解を深め、和服の構成と製作に関する知識と技術を学ぶ。</li> <li>・甚平上衣の製作</li> <li>・基本的な和服の着装を通して、和服がからだに合わせて着装するものであることを理解する。</li> </ul>			○		○
	10	2 製作例				○		○
	11							
	12	3 着装				○		○
3 学 期	1	2章 衣服の素材 1 衣服素材の種類 2 衣服素材の性能と選 択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維や繊維から成る糸や布の種類と特徴について理解する。</li> <li>・様々な衣服材料の性能を理解し、デザインや着用目的など、用途に合わせた衣服材料を適切に選択できるようになる。</li> </ul>			○	○	
	2							
	3							
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的知識と技術を身に付けるために、真剣に授業に取り組み、自主的に実習する。</li> <li>・欠席をせず実習記録やノートなどの整理をして、提出物は期限を守って提出する。</li> </ul>						